

道の駅たかのす整備事業

世界一の太鼓が響き、森吉山の恵みにあふれ、子どもたちの心と体を育む、アウトドアステーション



令和8年8月
北秋田市

整備全体イメージ

はじめに

道の駅たかのすと、北秋田市の未来へ

第3次北秋田市総合計画では、将来像を「森と歴史が息づき、幸せを紡ぐまち北秋田～だれもが関わり、未来を築く～」として掲げ、自然と歴史を大切にしながら、市民一人ひとりが主体的に関わり合い、世代や背景を超えて協力し合うことで、だれもが安心して幸せに暮らせる持続可能なまちを築いていくことを目指しています。

この度の「道の駅たかのす」のリニューアルは、訪れる人々に感動を与えるとともに、本市の活性化と市民の皆さんに喜びと安心感をもたらすための新たな挑戦です。

本市のこの取り組みに、市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。



目 次

1. これまでの経緯
 - 1-1. 道の駅たかのすの現況
 - 1-2. 各種計画の策定
 - 1-3. 道の駅の整備地
 - 1-4. アウトドア観光の取組とモンベル社との協働
2. 道の駅たかのす基本設計
 - 2-1. 道の駅たかのすの整備方針
 - 2-2. 全体配置計画
 - 2-3. 建物の外観計画
 - 2-4. 道の駅棟施設構成
 - (1) アウトドア用品販売施設・ツーリストセンター
 - (2) 物産販売等施設
 - (3) 食事施設
 - (4) 子育て応援施設
 - 2-5 公園・釜堤エリア

目 次

- 2－6. 基本設計にあたり実施した調査
 - (1) 各種調査の結果概要
 - (2) 子育て世帯へのアンケート調査結果(抜粋)
- 3. 大太鼓の館改修基本設計
 - 3－1. 大太鼓の館展示改修計画
 - 3－2. 改修イメージ図
- 4. 概算事業費
- 5. 運営方針
 - 5－1. 各施設の運営体制(予定)
- 6. 整備スケジュール
- 7. 今後の取組

これまでの経緯

1. これまでの経緯

1-1. 道の駅たかのすの現況

道の駅たかのすは、北秋田市市街地の北部、綴子地区の国道7号沿線に位置し、平成5年の道の駅制度創設時に登録された「秋田県内第1号」の道の駅です。

道の駅たかのすの敷地内には、見る者を圧倒する直径3.8メートルの大太鼓や、世界各国の太鼓が展示されている「大太鼓の館」、レストラン・物産販売店からなる「大太鼓の里ぶっさん館」、産直施設、情報プラザ等が整備されています。



ギネス世界記録に認定された
世界一の大太鼓

<現況施設の概要>

施設名	設置年
①大太鼓の里ぶっさん館	平成元年
②大太鼓の館	平成元年
③情報プラザ	平成9年
④JA産直おおだいこ	平成28年
⑤木質バイオマス発電施設	平成29年
⑥防災拠点設備	平成23年
⑦ドリームワールド	平成13年



<現況施設の課題>

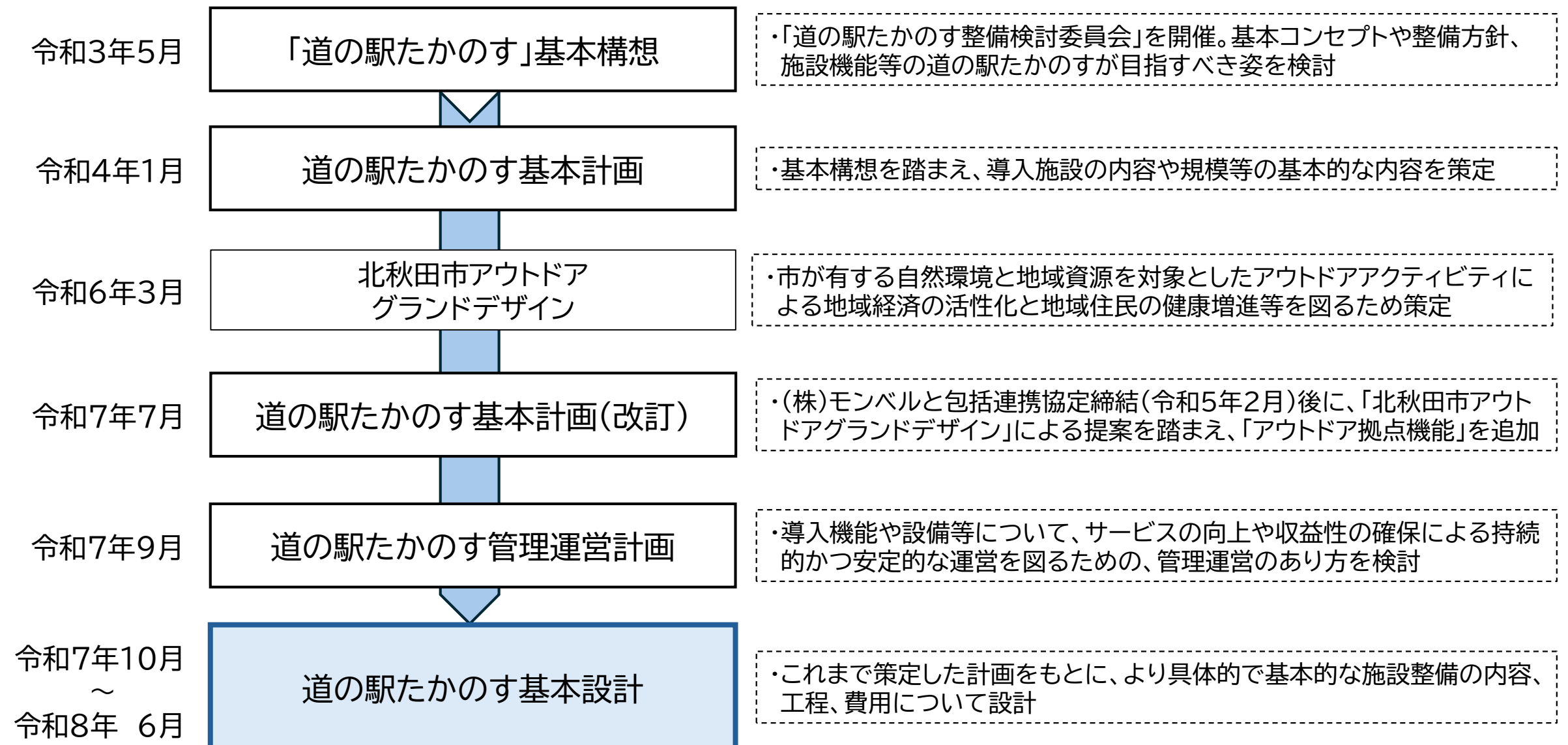
- 平成元年の整備から40年近く経過
⇒ 施設の老朽化
- 段階的な施設整備により施設が分散
⇒ 車両・歩行者動線の交錯

1. これまでの経緯

1-2. 各種計画の策定

市では、施設の老朽化や社会経済情勢の変化を踏まえ、有識者や関係団体等の協力を得ながら、道の駅たかのすの整備に向けて基本構想、基本計画、管理運営計画を策定し、令和8年6月には「基本設計業務」が完了しています。

< これまでの検討状況 >



1. これまでの経緯

1-3. 道の駅の整備地

道の駅たかのすの立地は、経済性や土地利用条件、文化資源(綴子大太鼓)との連携、防災拠点としての機能性などの優位性があり、周辺の自然観光資源へのアクセスも良いことから、アウトドア拠点施設の整備地としても適地となっています。

道の駅たかのすの立地上の優位性

○経済性

⇒ ・ 新規建設に比べ用地取得費・造成費用が抑えられる

○文化資源(綴子大太鼓)との連携

⇒ ・ 綴子地区にあり、敷地内に大太鼓の館がある。

○防災拠点としての機能性

⇒ ・ 浸水想定区域外・土砂災害区域外
・ 第1次緊急輸送道路(国道7号)に面している

○アウトドア拠点としての適性

⇒ ・ 市内及び近郊アウトドア観光資源へのアクセス性
・ 空港、鉄道、国道、高速道路が集中する交通の要衝
・ モンベル社辰野会長が市内候補地を視察した結果、「現在の道の駅たかのすの位置がアウトドア拠点の整備地として最適」と評価

なお、高速道路の整備により国道7号の交通量は減少するものと考えられますが、道の駅は近年「目的地」としての役割が高まっていることから、前面交通量と集客数の相関性は以前と比べ低くなっています。

<北秋田市・鷹巣エリアを取り巻くアウトドア観光資源>



1. これまでの経緯

1-4. アウトドア観光の取組とモンベル社との協働

北秋田市では森吉山をはじめとした豊かな自然資源を活用し、アウトドアを基軸とした観光振興にモンベル社と協働で取り組んでおり、道の駅へのアウトドア拠点整備もこの取組の一つとなっています。

アウトドア観光における地域の課題

- 森吉山や北欧の杜公園などのアウトドア観光資源が体験・滞在型観光に生かされていない
- 市内のアウトドア観光資源の魅力やアクセスの優位性といった情報発信力が不足している

対策と取組

- フィールド整備
⇒ 体験イベント造成支援
- 受け入れ体制の整備
⇒ アウトドアガイド人材の育成
- 拠点施設整備
⇒ 道の駅へのアウトドア拠点整備
- 情報発信・誘客機能の強化
⇒ モンベル情報誌等を活用したプロモーション
会員数:120万人(令和7年7月時点)

対策と取組の実施には専門的知見が必要



自治体との連携による地域活性化に豊富な実績を有するモンベル社と包括連携協定を締結し、令和4年度よりアウトドアを基軸とした観光振興に協働に取り組んでいます。

モンベル社：17府県、148市町村と包括連携協定を締結
(令和8年7月時点)

道の駅たかのす基本設計

2. 道の駅たかのす基本設計

2-1. 道の駅たかのすの整備方針

<道の駅たかのす 整備の基本コンセプト>

「世界一の太鼓が響き、森吉山の恵みにあふれ

子どもたちの心と体を育む、アウトドアステーション」

(道の駅たかのす基本計画より)

○豊かな自然と伝統文化を継承し様々な世代が交流するにぎわいのある施設を目指します。

○地元の食や製品の活用により、人が集い、地域産業が輝く施設を目指します。

○未来を担うすべての子どもたちが楽しく、安心して利用できる施設を目指します。

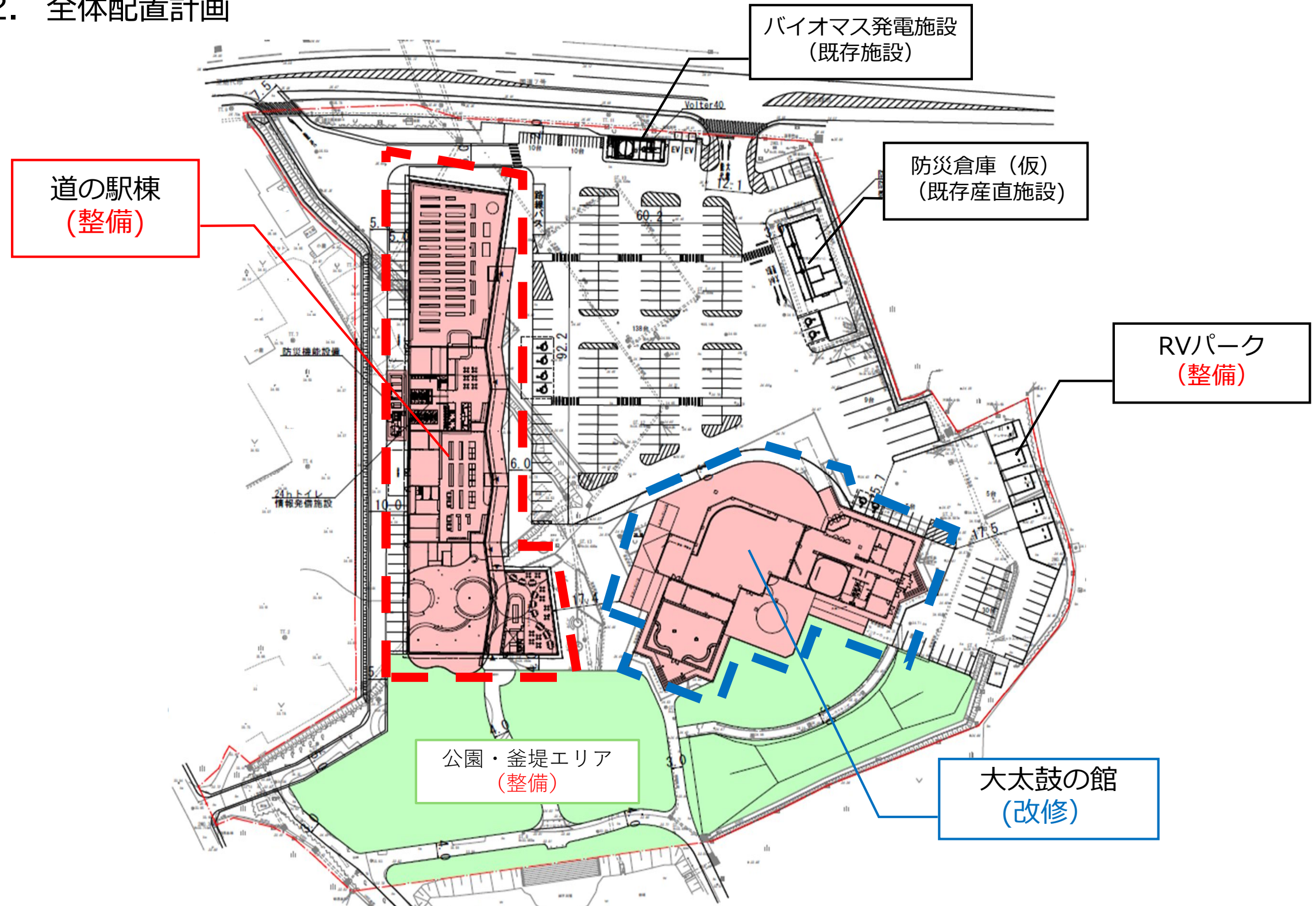
○ノーマライゼーションの社会を実現する誰にとっても優しく、快適に過ごせる施設を目指します。

○地域住民と道路利用者の安全・安心を確保する防災拠点を目指します。



2. 道の駅たかのす基本設計

2-2. 全体配置計画



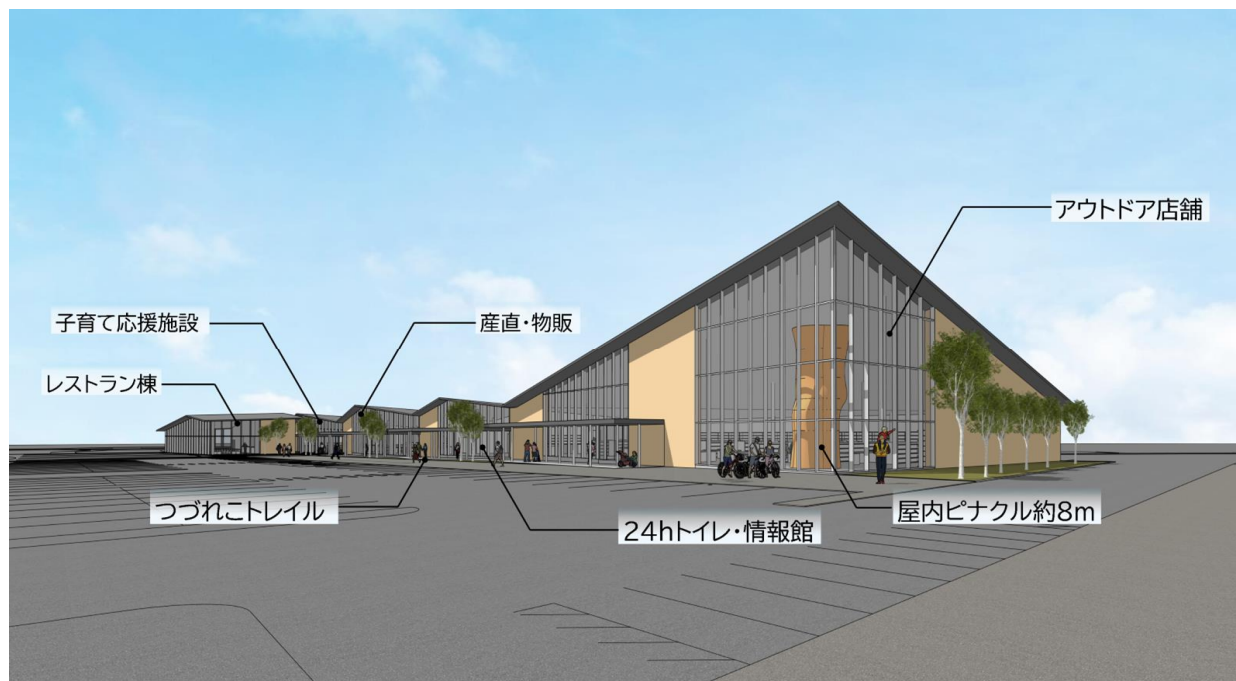
※計画概要は検討中のものであり、今後変更される可能性があります。

2. 道の駅たかのす基本設計

2-3. 建物の外観計画



○東側より施設全景



○国道7号側より施設全景



○国道7号(大館側)より見た外観イメージ

※建物外観イメージは検討中のものであり、今後変更される可能性があります。

2. 道の駅たかのす基本設計

2-3. 建物の外観計画



※建物外観イメージは検討中のものであり、今後変更される可能性があります。

2. 道の駅たかのす基本設計

2-4. 道の駅棟施設構成

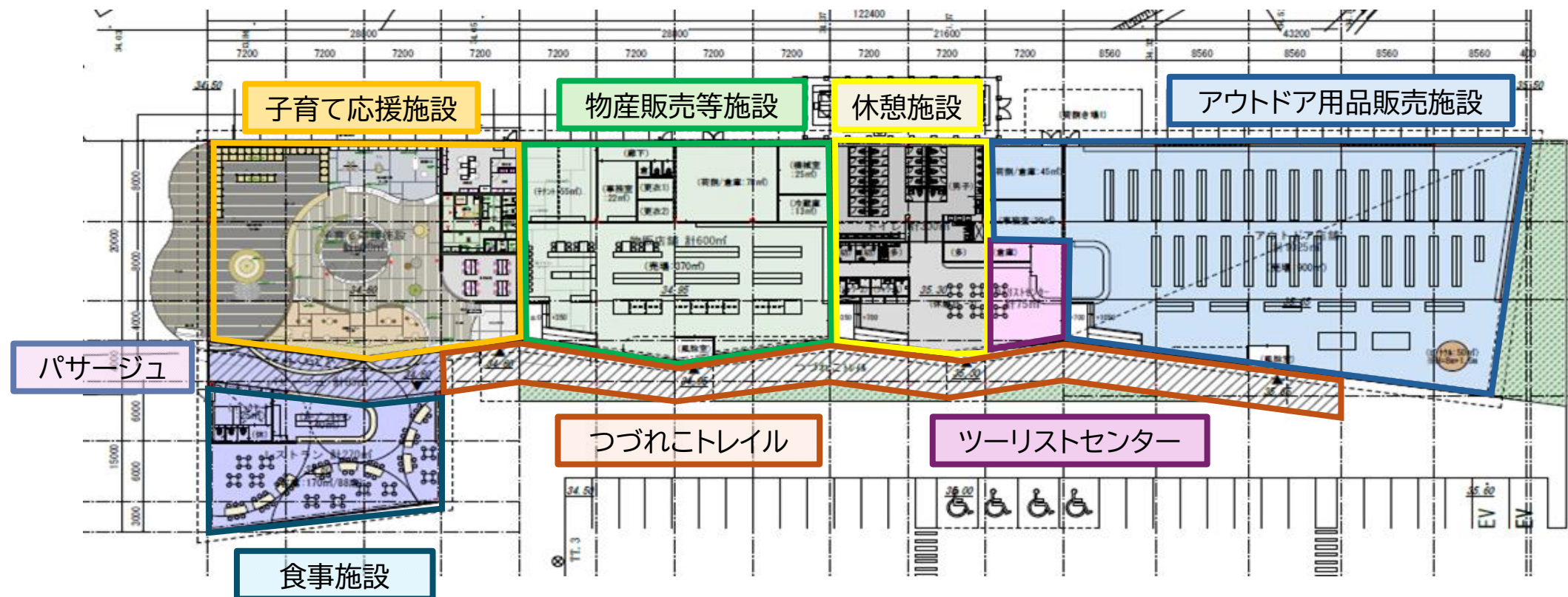
子育て応援施設



物産販売等施設



アウトドア用品販売施設



食事施設

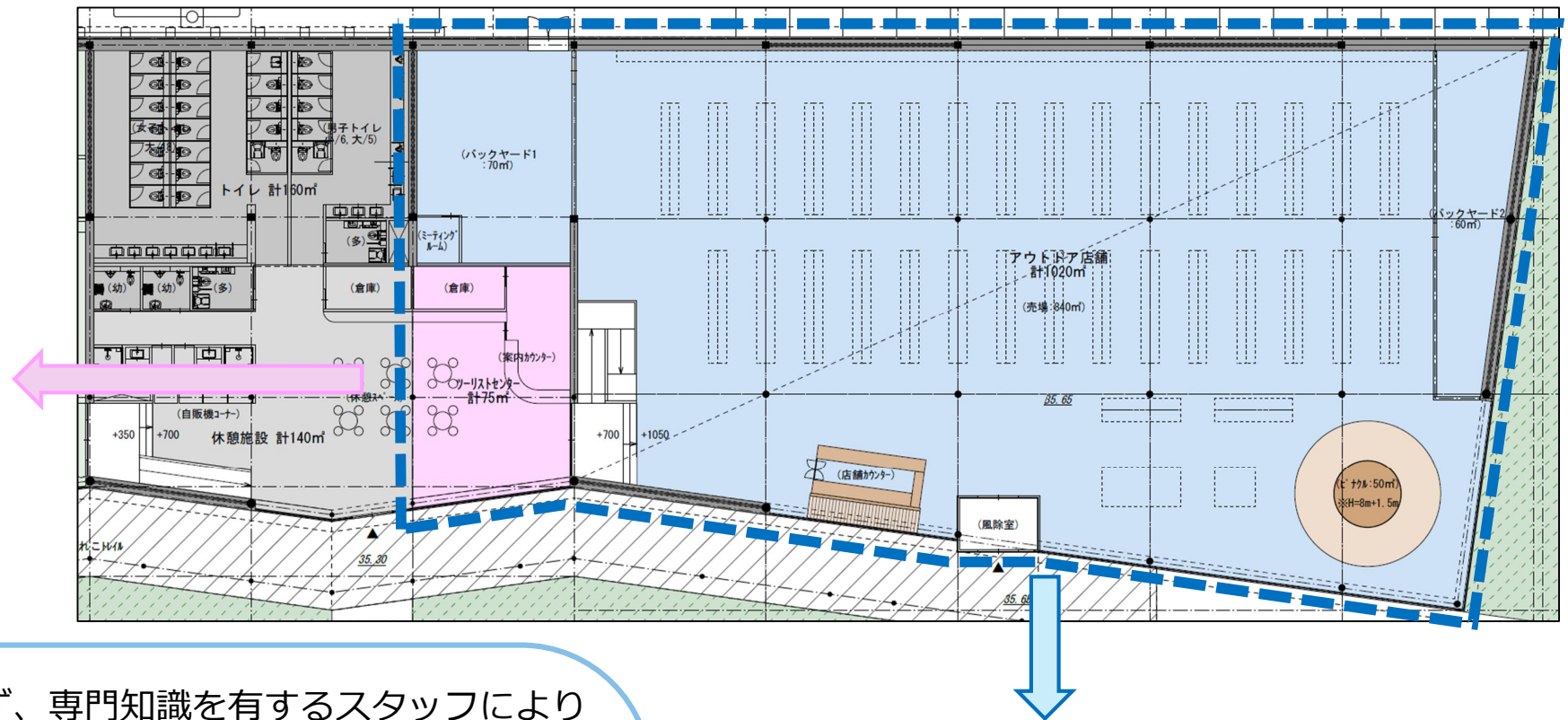


ツーリストセンター

※計画は検討中のものであり、今後変更される可能性があります。

2. 道の駅たかのす基本設計

(1) アウトドア用品販売施設 ツーリストセンター



アウトドア拠点施設の機能

単なるアウトドア用品販売のみならず、専門知識を有するスタッフにより地域の自然観光資源に関する情報提供やアウトドアツーリズムの提案等を行うことにより、**地域のアウトドア拠点**を目指します。

- (1) ビジターセンター機能
地域の自然資源やアウトドアアクティビティに関する情報提供、各種体験イベントの受付
- (2) アウトドア用品の販売機能
アウトドアアクティビティに必要な用品を専門知識を持つスタッフが提供
- (3) アウトドア用品等のレンタル機能
気軽にアウトドアアクティビティを楽しめる体制の整備
- (4) アウトドアアクティビティ体験機能
クライミングピナクルによるロッククライミング体験、釜堤を活用したカヌー体験など身近で楽しめるアクティビティ体験の機会を提供

● アウトドア用品販売施設



2. 道の駅たかのす基本設計

(2) 物産販売等施設

テナントブース

地元産農産物等を利用した加工品やスイーツ等の販売を想定したテナントブース。

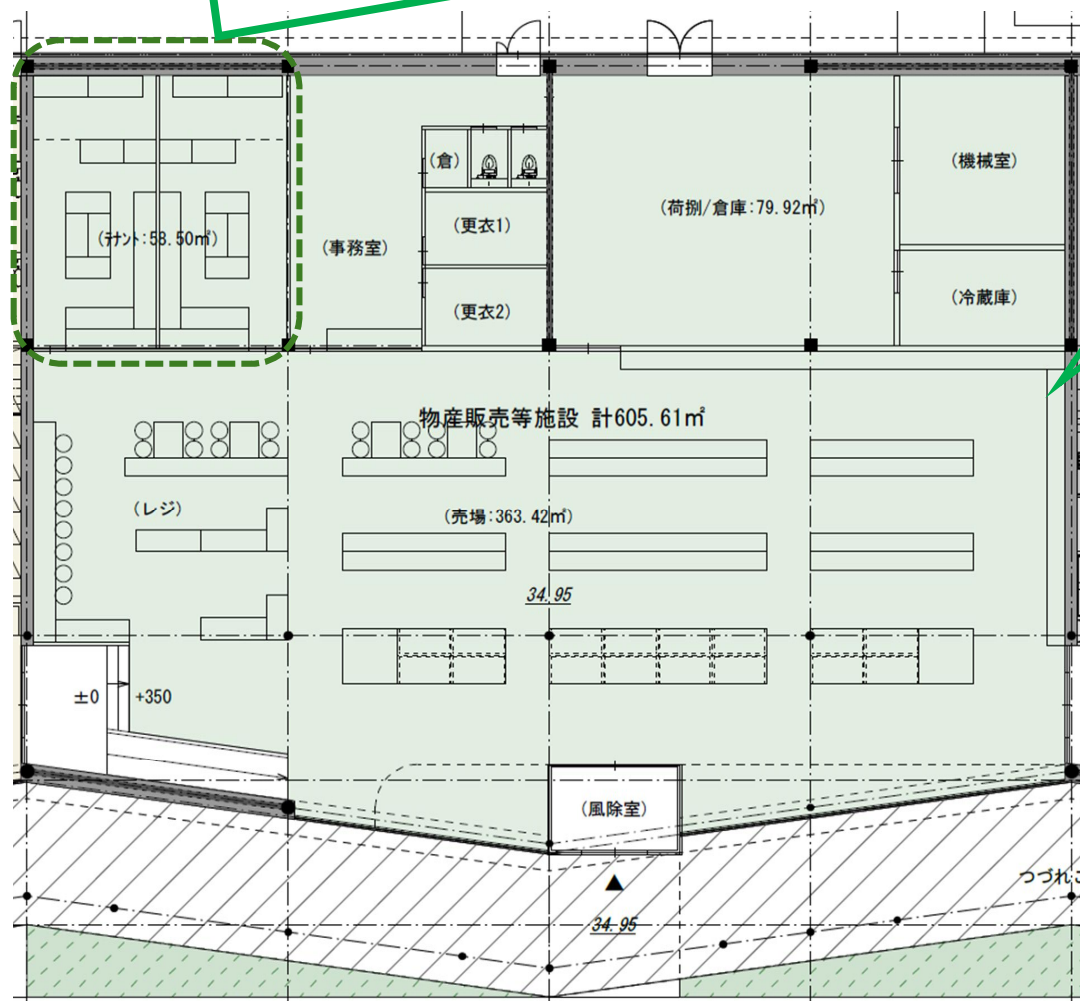
事前の意向調査では地元事業者からも出店意向が示されています。



テナントイメージ

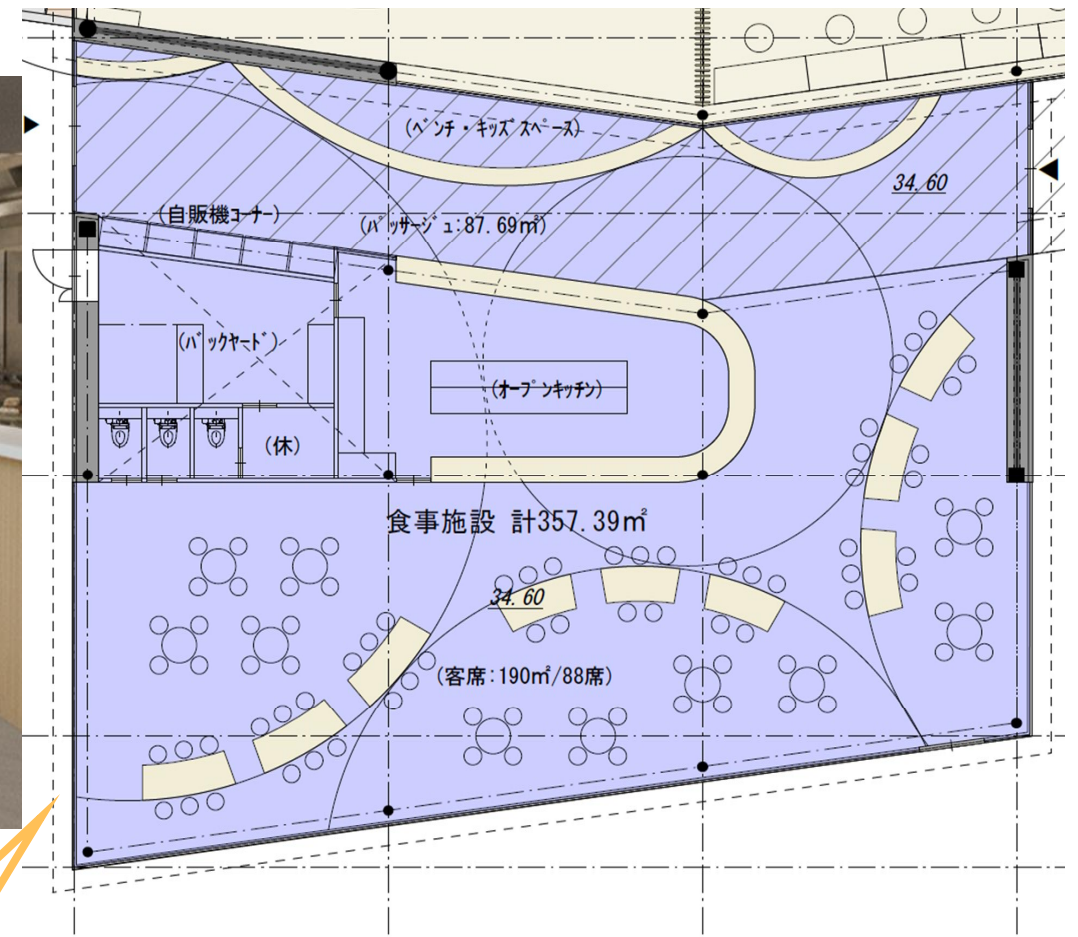
開放的な内部空間とガラス張りの外装により、外部からも内部の賑わいが感じられるような空間とします。

農産物等の地元産品、特産物を数多く並べ、来訪者に魅力ある、話題性のある施設を目指します。



2. 道の駅たかのす基本設計

(3) 食事施設



見晴らしの良い開放感のある食事施設

○地元産農産物等を活用した特色あるメニューで食事に訪れた方々の記憶に残る食事施設を目指します。

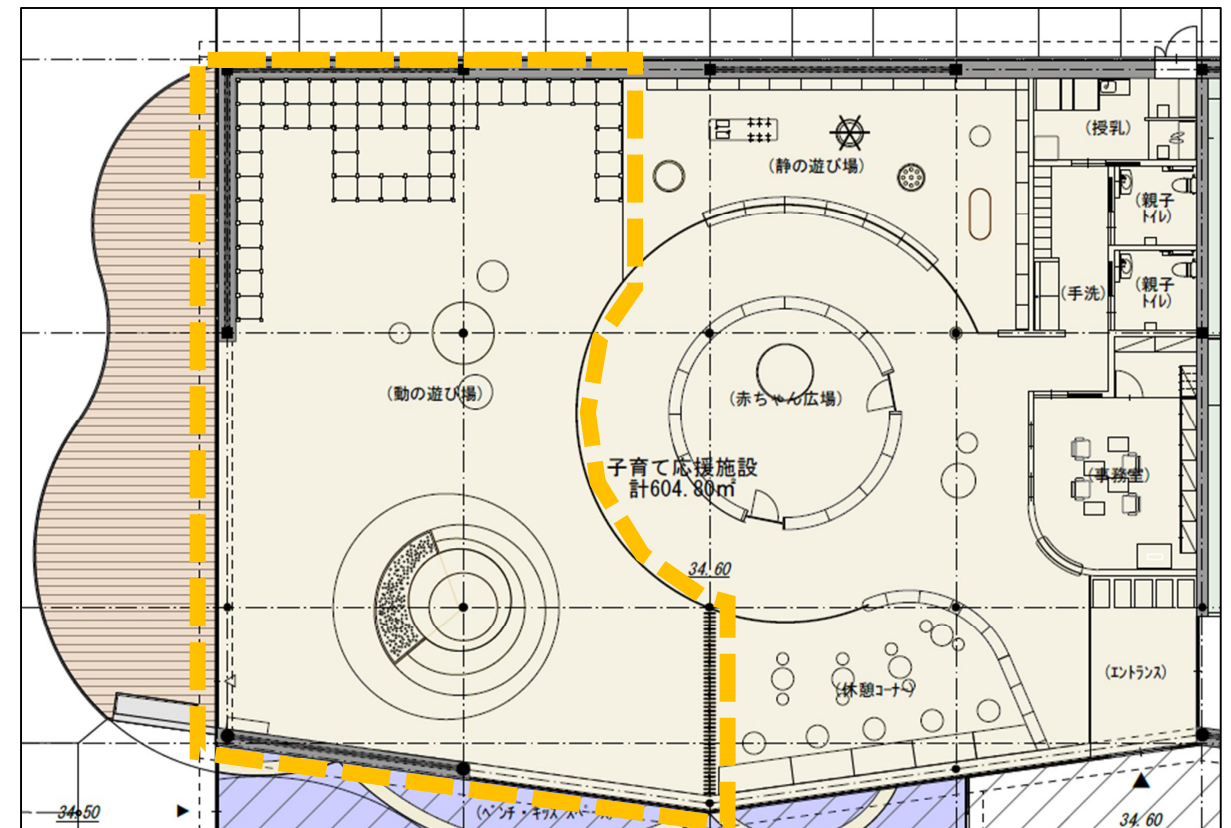
○客席からは南側の公園や釜堤、天気の良い日には森吉山も見ることができ、景色を眺めながら食事ができる空間を目指します。

晴れた日にはテラス席で

晴れた日には道の駅で購入したものを食べたり、柔らかな日差しの中でゆっくりした時間を過ごせる屋外スペースの確保についても検討しています。

2. 道の駅たかのす基本設計

(4) 子育て応援施設



動の遊び場

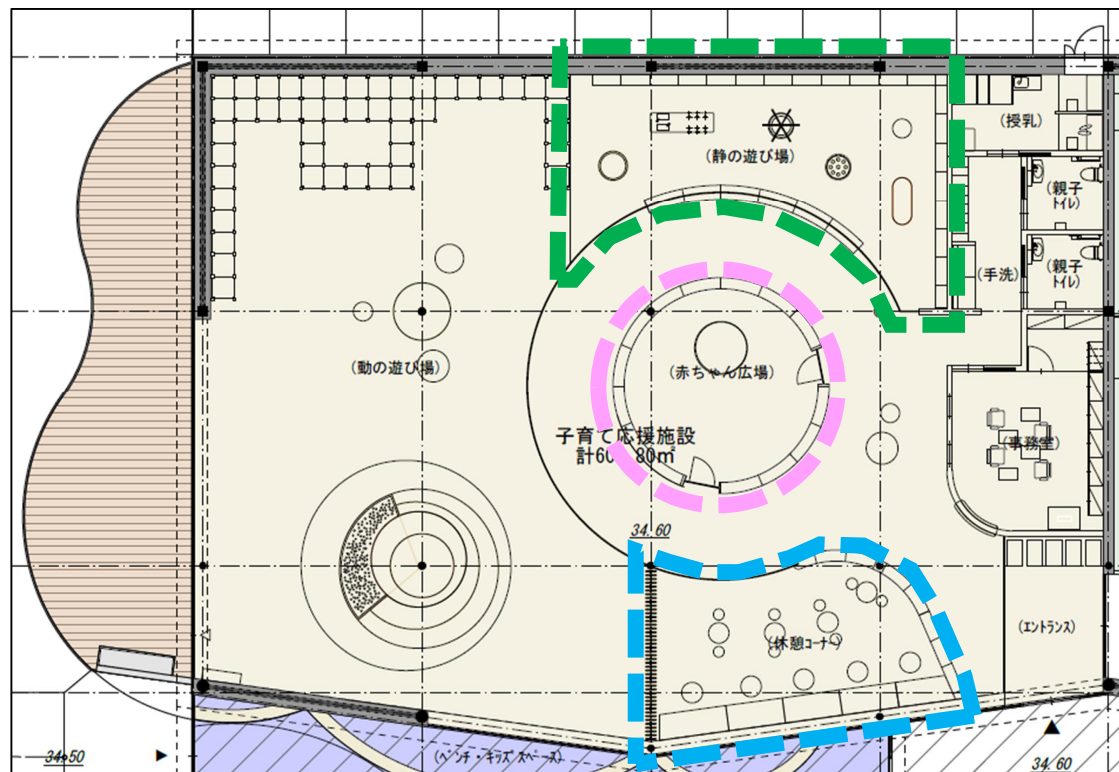
走り回ったり遊具で体を動かしたり屋外のように元気に自由に遊べる広大なスペース。

すべり台や隠し部屋などが設けられている木のぬくもりを活かした木製のジャングルジムなどを配置し、子どもの好奇心や創造性を引き出します。



2. 道の駅たかのす基本設計

(4) 子育て応援施設



静の遊び場

本を読んだり、落ち着いて過ごせるスペース。動の遊び場と分離することで子どもの多様性を尊重します。



休憩コーナー

保護者の方がゆっくり子どもを見守ることができるスペース。同じ子育て世帯との交流や情報交換が可能となります。



赤ちゃん広場



他の遊び場との仕切りを設け、独立した空間を造ることで、小さな赤ちゃんも安心して遊ばせることができます。

2. 道の駅たかのす基本設計

2-5. 公園・釜堤エリア



現在のドリームワールド及び大太鼓の館南側を利用して、森吉山を望むロケーションを生かした広場を整備する計画としています。

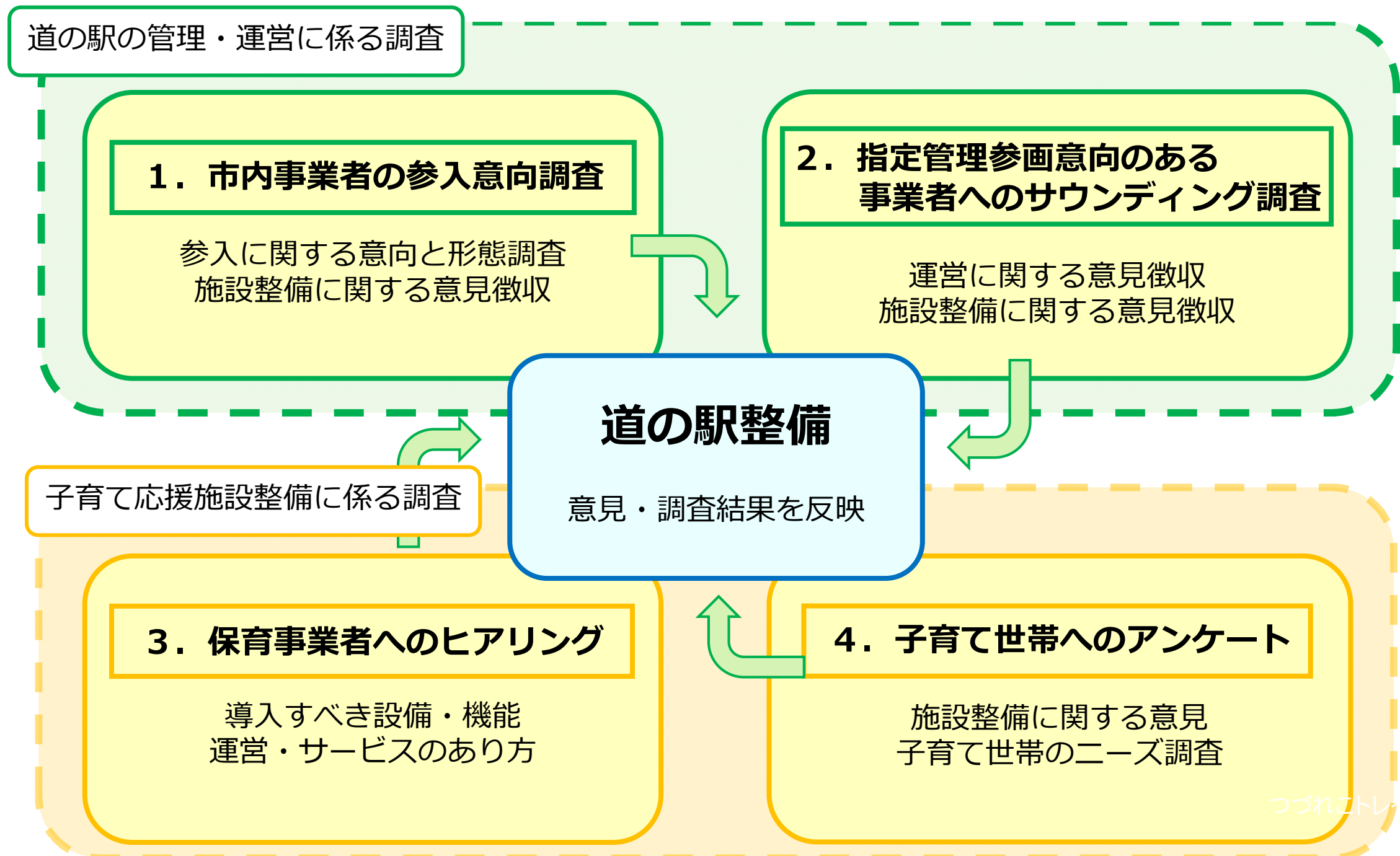
過度に遊具を並べるのではなく広大な芝生の広場とし、遊び方や利用方法を制限しない空間を確保することで、子どもたちが自ら遊びを見つけ、思い切り体を動かしながら、のびのびと過ごせる環境を創出します。また、各種イベントやため池を活用した力ヌー体験など、多目的な利用を想定しています。



2. 道の駅たかのす基本設計

2-6. 基本設計にあたり実施した調査

道の駅たかのすをより魅力的かつ効果的な施設にするため、市民、関係事業者等へのアンケートやヒアリング調査等を実施し、各種意見や調査結果を参考に設計に取り組んでいます。



2. 道の駅たかのす基本設計

(1) 各種調査の結果概要（道の駅の管理・運営）

1. 市内事業者の参入意向調査

【調査内容】テナント出店意向や農産物・加工品等商品の納入意向調査

【対象者】市内事業者

【調査結果】24事業者から前向きな回答を頂いたほか、「特産品開発を積極的に行いたい」「地元食材を使ったメニューや加工品開発をしたい」という積極的な意見もありました。

2. 指定管理参画意向のある事業者へのサウンディング調査

【調査内容】道の駅運営に係るサウンディング型市場調査

【対象者】指定管理者として参画意向のある事業者

【調査詳細】管理運営実績、主要リスクと考えられる対応策、市内事業者との連携、他の道の駅との差別化、独自性や特色ある道の駅とするためのアイデアについて

【調査結果】上記内容について意見交換したほか、指定管理者として希望する公募条件など、様々な意見を頂きました。
また、「モンベルの併設や大規模な子育て応援施設など、ハード上の強みを活かして差別化を図れる」「道の駅たかのすならではのメニュー提供により個性を出したい」等の意見もありました。

2. 道の駅たかのす基本設計

(1) 各種調査の結果概要（子育て応援施設）

3. 保育事業者へのヒアリング

【調査内容】 子育て応援施設に導入すべき設備・機能、運営・サービスのあり方

【対象者】 保育事業者

【調査結果】 小学生まで幅広く利用できる施設や多年齢が利用可能な空間の必要性、保護者や管理者による見守り体制の確保、飲食可能なスペースやおむつ交換設備、過度な遊具整備よりも自由度の高い空間整備が期待される等の意見がありました。

4. 子育て世帯へのアンケート

【調査内容】 子育て応援施設の整備に関するアンケート

【対象者】 小学生までの子どもの保護者

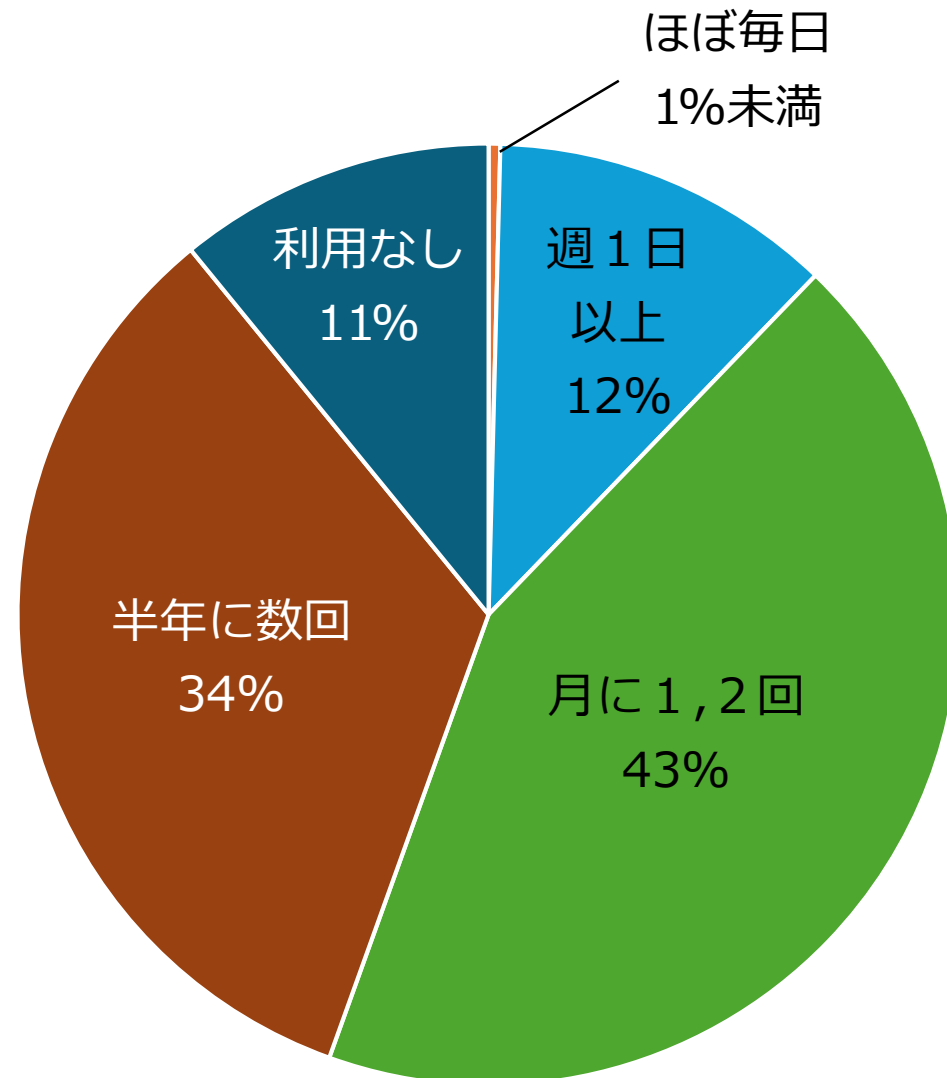
【回答数】 238件

【調査結果】 屋内遊戯施設のニーズや利用状況、求める設備・サービス内容等についてアンケートを実施し、子育て応援施設に対して様々な意見・ご提案を頂きました。

2. 道の駅たかのす基本設計

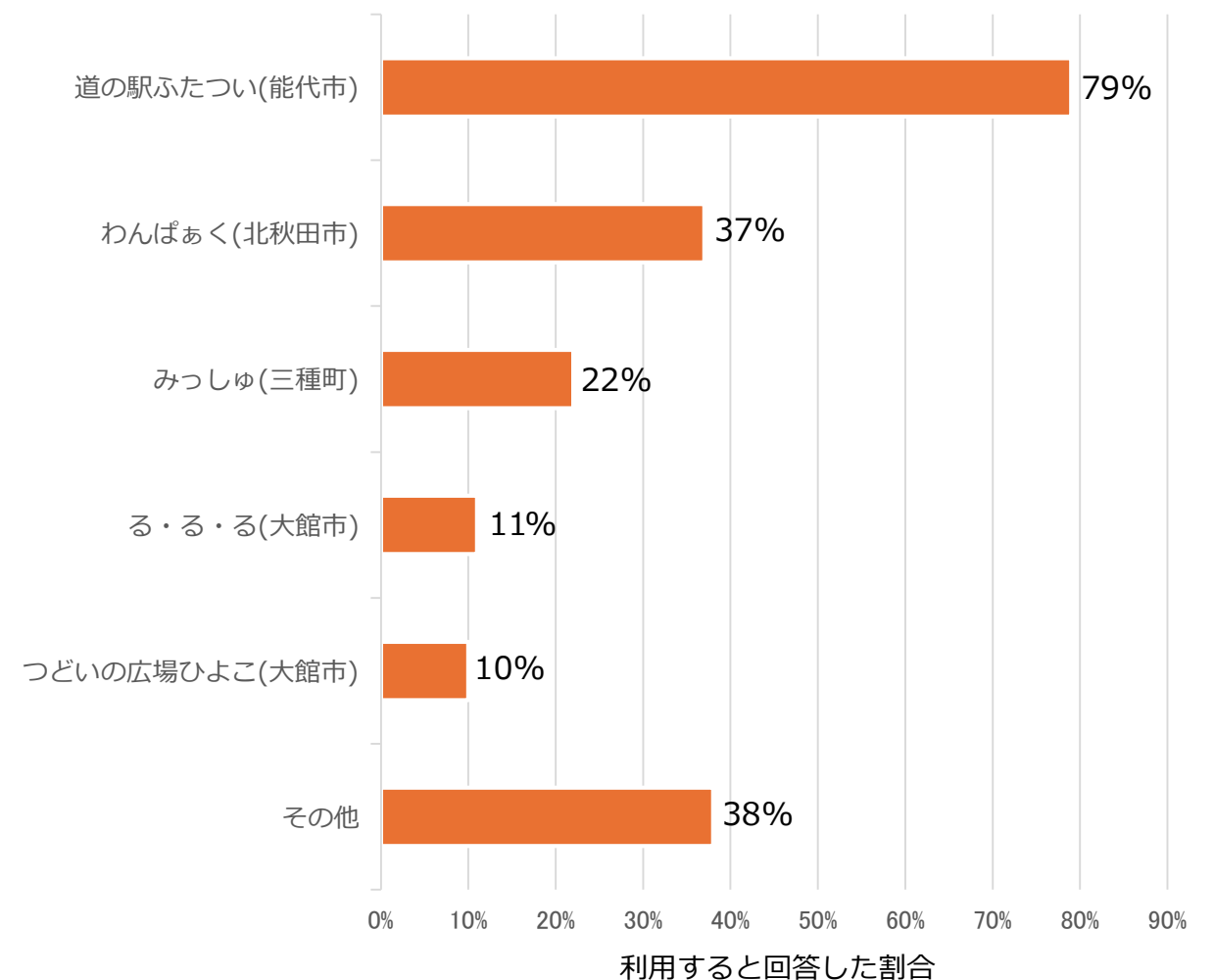
(2) 子育て世帯へのアンケート調査結果(抜粋)

現在の屋内遊戯施設の利用頻度



主に利用する屋内遊び場施設

(複数回答)

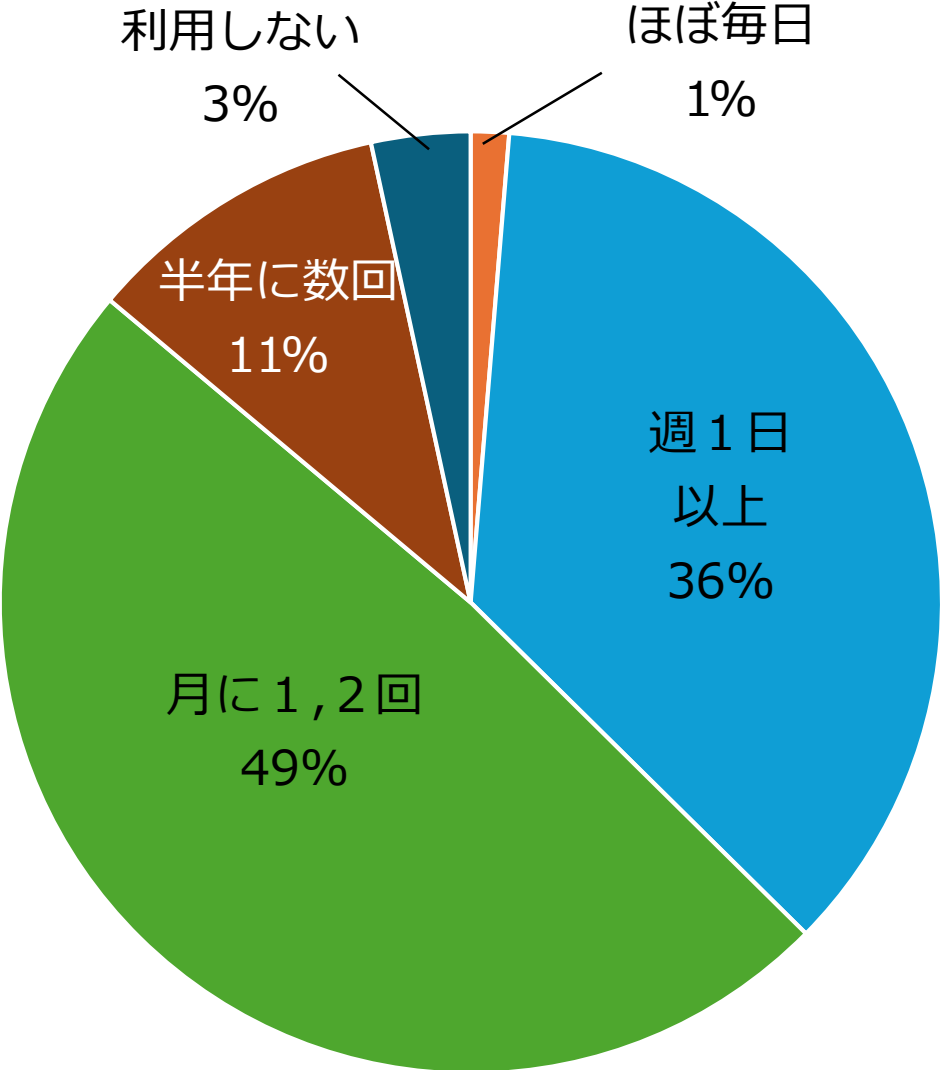


子育て世帯の半数以上が月に1回以上屋内遊戯施設を利用しているものの、その多くは道の駅ふたつ等、近隣市町村の施設を利用している状況となっています。

2. 道の駅たかのす基本設計

(2) 子育て世帯へのアンケート調査結果(抜粋)

子育て応援施設が整備された場合の施設利用頻度



施設に必要なと思う空間や設備・サービス

項 目	割合
子どもが天候に左右されずに遊べる空間	89.1%
飲食可能なスペース	49.2%
小学生がのびのびと体を動かせるスペース	47.1%
子ども専用のトイレや洗い場	38.7%
柔らかい床や床暖房設備	31.1%
授乳室、ベビーシートなど乳幼児向け設備	31.1%
乳幼児だけが遊べるスペース	23.1%
保護者が休憩したり交流できるスペース	21.4%
無料Wi-fi環境	21.0%
子どもが兄弟で遊べるスペース	18.5%
工作或学習などができるスペース	16.8%
子どもの一時預かりスペース	10.9%

※調査全数に対し「必要」と答えた人の割合を示しています。
※必要と答えた割合が高い項目を抜粋して掲載しています。

子育て世帯の約90%が「子どもに天候に左右されずに遊べる空間」が必要だと感じており、子育て応援施設が整備された場合、約85%が月に1回以上の利用頻度で利用したいと回答しています。

2. 道の駅たかのす基本設計

(2) 子育て世帯へのアンケート調査結果(抜粋)

施設整備に対しての主な意見や提案

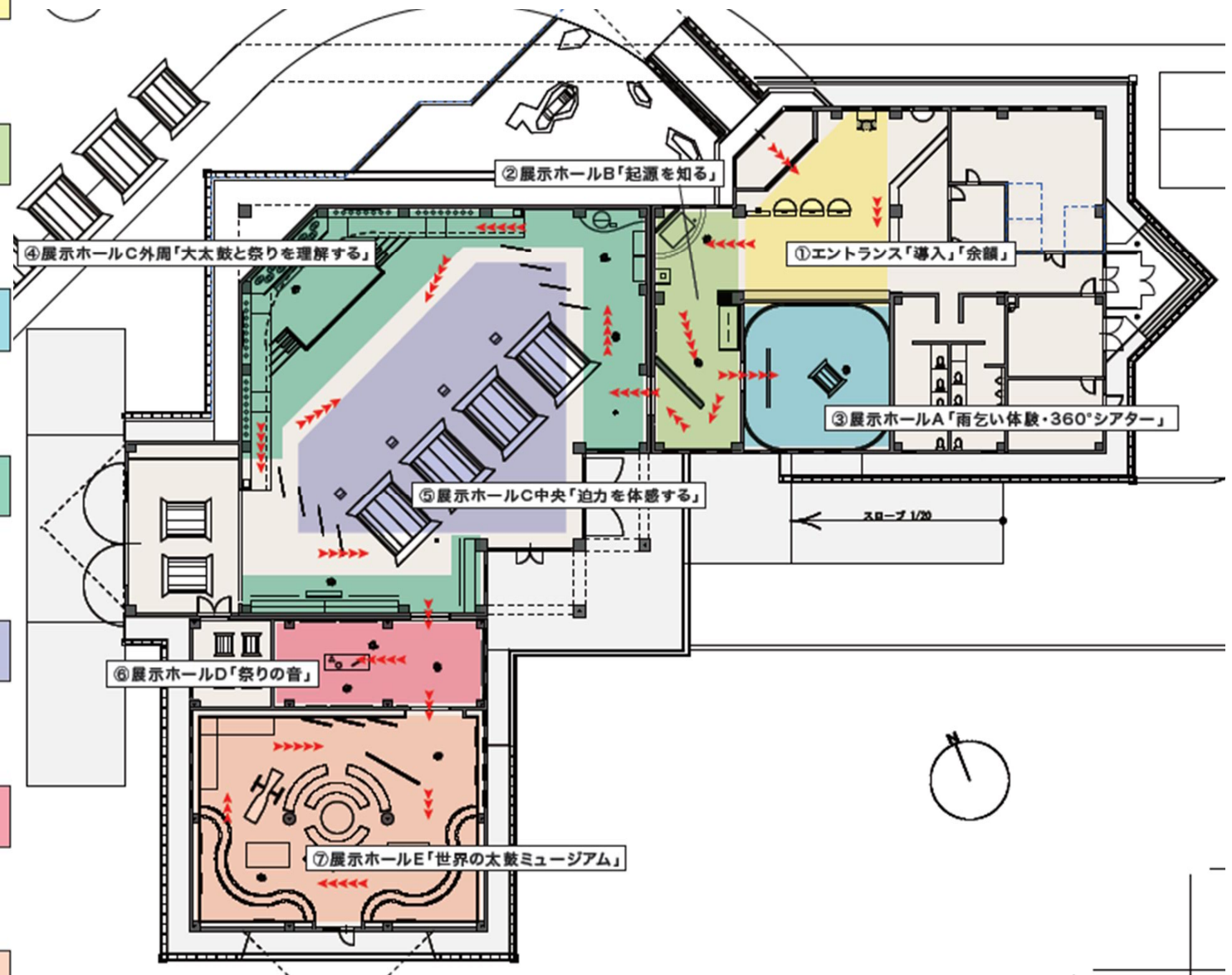
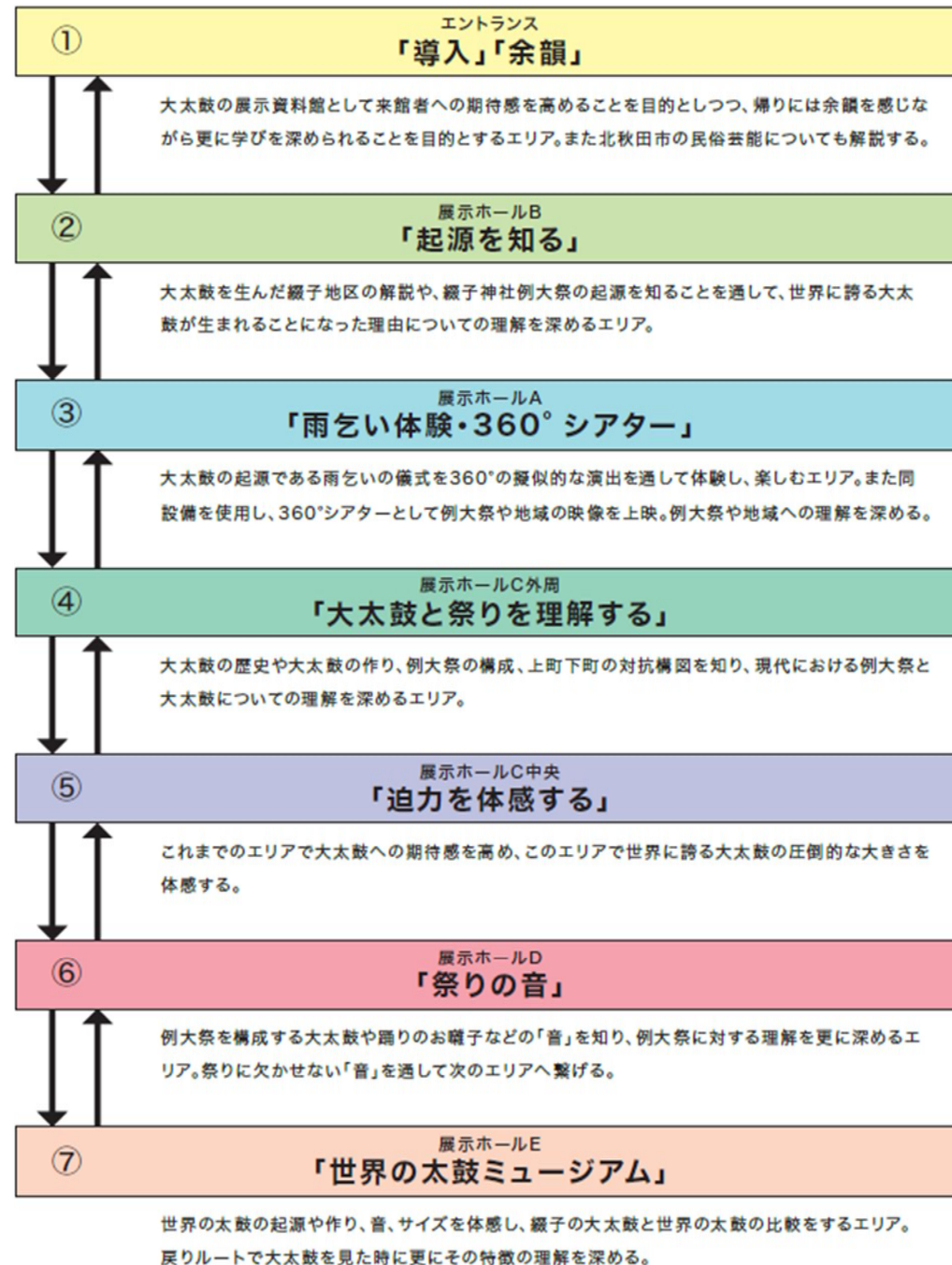
- 熊出没、猛暑、豪雪など外遊びが制限されるため、大型屋内遊具施設が必要
- 「わんぱあく」等乳幼児向け施設は評価するが、小学生向け機能が不足している
- 乳幼児と小学生では遊び方や危険性が異なるため、年齢別に区画してほしい
- 保護者から見通しのよい設計や、職員・見守りスタッフの常駐
- 消毒や感染症対策、空気清浄設備、清潔な施設管理
- トイレやおむつ交換台、授乳室、着替えスペースや洗い場、離乳食・調乳可能設備の併設
- 公園や芝生広場など屋外遊び場の充実
- 中途半端な施設ではなく、県内外から人が集まる魅力的な施設にしてほしい
- イベントやワークショップ、親子レク等の多目的利用への期待
- モンベル等との連携による自然体験、アウトドア体験機能への期待

大太鼓の館改修基本設計

3. 大太鼓の館改修基本設計

3-1. 大太鼓の館展示改修計画

地域文化を来館者が身体的・感覚的にも受け取り、学び、理解を深めることのできる場となるよう、映像演出や体験展示等の充実を図ります。



※展示計画概要は検討中のものであり、今後変更される可能性があります。

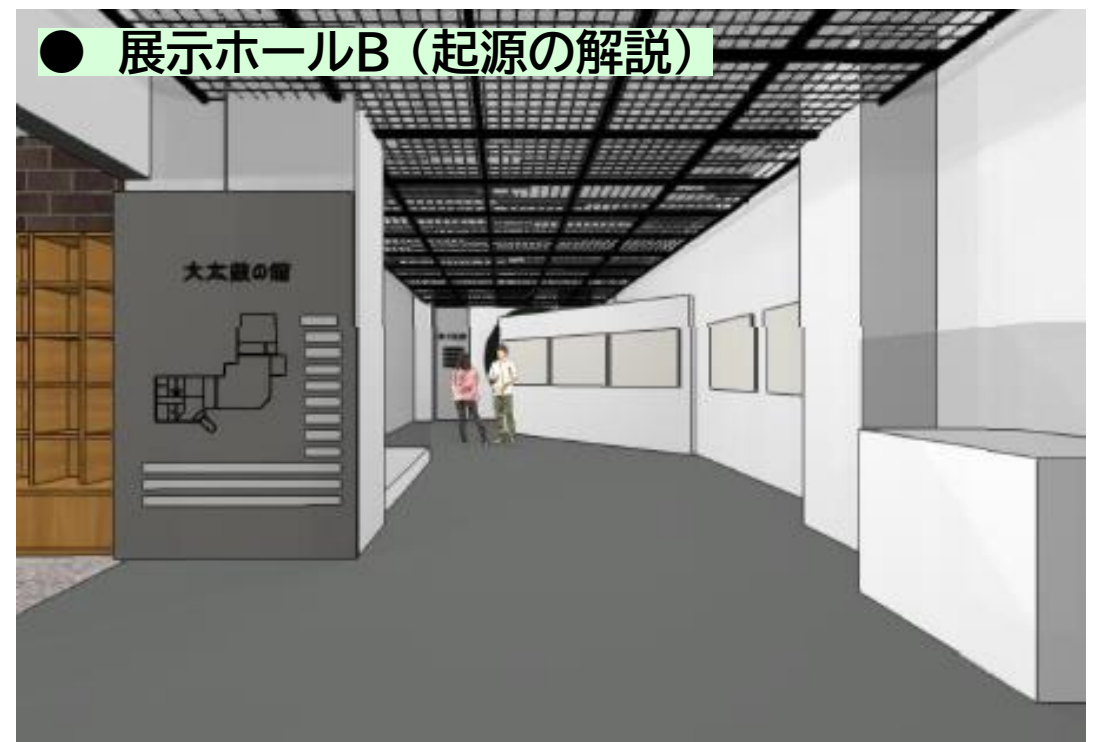
3. 大太鼓の館改修基本設計

3-2. 改修イメージ図



北秋田市ふるさと大使である高橋克典さんのナレーションを取り入れた映像コンテンツの上映を検討しています。

360°をスクリーンに囲まれたホールで太鼓を実際に叩くことができ、演奏に合わせて壁面や床の映像が演出される「**体験し、楽しむ**」エリア。
例大祭の映像等も活用し、臨場感と迫力ある音や映像を体験できるような施設を計画しています。



3. 大太鼓の館改修基本設計

3-2. 改修イメージ図



展示ホールCイメージ

3. 大太鼓の館改修基本設計

3-2. 改修イメージ図

大太鼓を展示するホールでは、大太鼓の正面にステージを設け、通常とは異なる目線からその迫力や細部を鑑賞できるよう計画しています。また、実演会や叩き初めなどの屋内イベント開催時には、ステージを観覧席として活用し、来場者がより臨場感をもってイベントを楽しめる空間としています。



3. 大太鼓の館改修基本設計

3-2. 改修イメージ図

屋外イベント開催時には、前面道路や駐車場からも視認しやすい施設前面スペースに大太鼓を配置し、来場者の目を引く演出を行うことで、多くの方々に関心を持っていただけるような運用を計画しています。



屋外イベント開催イメージ

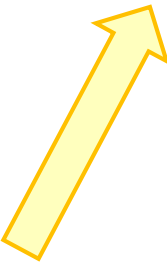
概算事業費

4. 概算事業費

事業費については、国交付金や地方債、各種基金等を活用し実質的な市の負担軽減を図ります。

【概算事業費】	
38.9億円	
道の駅 たかのす	建築工事 25.1億円
	土木工事 3.6億円
	設計・調査等 4.0億円
大太鼓の館	改修工事 5.8億円
	設計・調査費等 0.4億円

【財源内訳】
地域未来交付金 13.0億円
地方債 20.1億円
一般財源 5.8億円 (国交省負担金等を含む)



基本設計では総事業費を約38.9億円と算出していますが、財源として国の交付金や有利な条件の地方債を活用することにより、市の一般財源は約5.8億円となる見込です。

また、一般財源については国交省負担金と基金の充当等により、さらに減額される予定です。(現在協議中)

運営方針

5. 運営方針

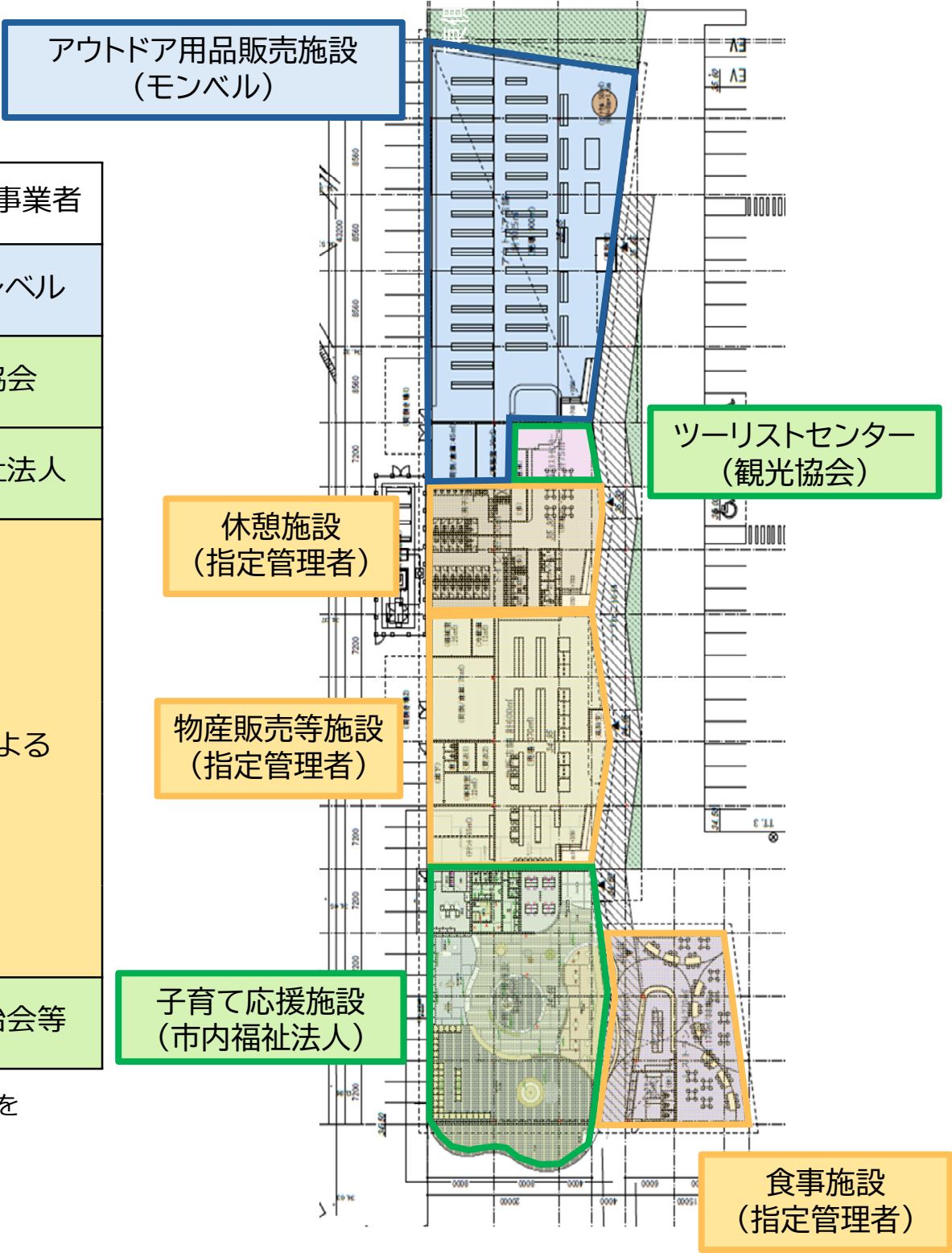
5-1. 各施設の運営体制(予定)

＜各施設における管理・運営者と想定事業者一覧＞

	施設名	施設管理	運営形態	想定する事業者
道の駅棟	アウトドア用品販売施設	指定管理	テナント	(株)モンベル
	ツーリストセンター		業務委託	観光協会
	子育て応援施設			市内福祉法人
	休憩施設		指定管理	公募による
	物産販売等施設			
	食事施設			
外構部	駐車場	指定管理	指定管理	公募による
	公園・釜堤エリア			
大太鼓の館	大太鼓の館	市	業務委託	地元自治会等

指定管理者、委託業務受託事業者、(株)モンベル、市などの関係機関で構成する運営協議会を設置し、相互に連携しながら施設運営に取り組む予定です。

＜道の駅棟における運営者区分図＞



整備スケジュール

6. 整備スケジュール

道の駅たかのす整備
大太鼓の館改修
実施スケジュール

	令和 8 年度												令和 9 年度												令和10年度											
	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
関連イベント等			▼ 綴子神社例大祭		▼ 太鼓祭り										▼ 綴子神社例大祭		▼ 太鼓祭り										▼ 綴子神社例大祭		▼ 太鼓祭り							
道の駅たかのす整備																																				
基本設計																																				
実施設計																																				
整備工事																																				
大太鼓の館改修																																				
実施設計																																				
改修工事																																				

令和10年秋
オープン予定

7. 今後の取組

今後、指定管理候補者の公募・選定や子育て応援施設に関するワークショップの開催を予定しており、並行して進める実施設計においては指定管理候補者やワークショップで頂いた意見を反映してまいります。

また、市民の皆様が利用しやすい環境を作るため、道の駅たかのすへのアクセスについて市街地循環バスの延伸等の協議を行っていくなど、「道の駅たかのす」が魅力的で利用しやすい施設となるよう事業を進めてまいります。

引き続き、市民の皆様には事業の内容や進捗をご報告する機会を設けてまいりますので、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。